

戦前婦人労働 論文資料集成

全8巻 赤松良子・原田冴子 監修

戦前の婦人労働に関する貴重資料二百数十点を、
主題別に編纂し解説を附して刊行。



クレス出版

刊行の言葉

文京学院大学大学院教授
元文部大臣

赤松良子

私が労働省に入省したのは一九五三年のことであったが、女性労働の問題に関心が深かったため、戦前からの参考文献について先輩に尋ねてみたところ、その時点で刊行されたものは別として、戦前の文献を体系的に網羅したものとして、一九四二年の「婦人労働に関する文献抄録（日本労働科学研究所編）」というのがあると教えられた。刊行後戦争をはさんで十年以上経過しており、簡単には入手できなかったが、何とか手に入れその立派な業績に感動した記憶がある。「邦文の部」と「欧文の部」とがあったのだが、その後また五十年を経て記憶の彼方へ去ってしまった。

ところが、この度その文献（邦文の部）から抄録ではなく、原文を掘り起こして復刻しようということになった。これは大変な作業だが、出来あがれば貴重な資料になることは疑いない。何しろ、明治の後期から昭和十四（一九三九）年に至る間に発表された婦人の職業と労働に関する科学的論文の殆ど全部だと云われているのである（抄録の例言による）。幸い、原文は一九四二年から今日まで日本労働科学研究所に大部分が良い状態で保存されていた。しかし、これらをすべて収録することは、あまりにも膨大な量になり、またそれだけ意味のあるものばかりとは限らない。そこで下記の方々の協力を得て、これらすべてに目を通して、取捨選択し（単行本は除外した）、さらに改めて章だてを考え、理解し易いよう論理的に整理し、全8巻にまとめ、夫々の巻末に解説を附すこととした。

戦前と今日とは、女性労働者の実態もそれをとりまく環境も大きく変化しているが、にも拘らず、戦前に書かれた多くの文献が、今日なお興味をよびおこし、研究者の方々にとって奥ゆきのある書庫の役割を果たすものになることを期待している。

- 第1巻 一般 西村小夜子編・解説
- 第2巻 労働条件、適性 上田晴子編・解説
- 第3巻 農業婦人、職業婦人 福沢恵子編・解説
- 第4巻 労働状態 福沢恵子編・解説
- 母性保護、福祉施設、保護法制
- 望月雅和編・解説
- 第5巻 労働の影響(1) 石津澄子編・解説
- 第6巻 労働の影響(2) 石津澄子編・解説
- 第7巻 労働の影響(3) 石津澄子編・解説
- 第8巻 労働の影響(4) 石津澄子編・解説



戦前婦人労働論文資料集成 全8巻構成

第1巻 一般

婦人労働全般	山川 菊栄
婦人職業問題二就テ	河田 嗣郎
女子労働問題	高野岩三郎
本邦に於ける婦人職業問題の現在と将来	織本 貞代
我國労働婦人運動の展望	大西 清治
近代産業と婦人労働	北岡 寿逸
婦人労働者問題	森戸 辰男
婦人労働の推進力	小池善次郎
婦人労働実情	広瀬 芳広
婦人職業問題と部内女子従業員	田中 芳郎
婦人労働問題に就いて	天谷健一・小田切謙
家庭に於ける婦人労働に就いて	森戸 辰男
婦人職業の考察	産業労働調査所
日本における女子の職業的行動	産業労働調査所
婦人労働者の状態	最近に於ける婦人労働者の進出
最近に於ける婦人労働者の状態	岡崎 文規
経済競争に於ける婦人労働者の進出	富田愛次郎
婦人職業の分野	大阪府社会部調査係
婦人の職業的進出に就て	風早八十二
最近大阪に於ける婦人職業の分野	湯川 旭
繊維工業労働立法問題における社会と経済	
我が國に於ける女子の職業と配偶関係とに就いて	
職業問題	鈴木 舜一
求職婦人の近代的傾向	磯部 勇
婦人の職業について	

第5巻 労働の影響(1)

衛生学上ヨリ見たる女子の現況	石原 修
婦人問題の医学的觀察	富士川 游
婦人労働者選択の生理的標準に関する研究	小西 与一
婦人労働者の發育に関する研究	小川 惟照
繊維工業女子従業員の労働に関する衛生学的觀察	助川 浩
動力が女子の健康上に及ぼす影響	寺沢 殿男
日本婦人労働者の現状に関する生物学的批判	磯部 義等
婦人労働に関する生物学的見解	磯部 義等
日本人の基礎代謝に就ての論考	稲垣 尚寿
女子職業と身体的関係に就て	磯部 義等
労働者最低年齢法に対する医学上よりの批判	鷲野基之助
婦人労働者最低年齢に就て	川上 六馬
義務教育延長の科学的根拠	大西 清治
日本婦人の基礎代謝の年齢的变化に就て	大塚 協
婦人職業の身体に及ぼす影響に就て	湯本 アサ
女子職業と身体的関係	湯本 アサ
婦人労働問題報告	寺沢 殿男
職業婦人の身体發育に就て	若林 米吉
職業婦人の心理的並に生理的考察	細井和喜蔵
女子職業の心理的考察	桐原 稔見
小唄と女工心理	桐原 稔見
女子の精神的特徴と職業	桐原 稔見
女子の悲しみと悦びとに就いて	南崎 雄七
第6巻 労働の影響(2)	
工場、会社、鉄道等ニ採用スル人員ノ身体検査標準ニ就テ	植村 隆秀
女工手体重の研究から得た二三重要事項に就いて	八木 高次
農村住民の体格に就て	南崎 雄七

婦人労働市場の發達と 婦人職業問題 (上)

石原 義治

目次

- 一、最近に於ける婦人労働市場の現況
 - A 概 説
 - B 求人數に就て
 - C 求職者數に就て
 - D 就職者數に就て
- 二、婦人労働市場の整備と雇傭制度の改善
- 三、婦人労働市場に於ける諸問題と婦人職業問題
 - 一、最近に於ける婦人労働市場の現況
 - A 概 説

最近五ヶ年に於ける労働市場に現れた婦人の進出を見るに年々

著しい増加を示して居り、先づ求人數に就て見るに昭和六年に於ては八四六、五九三であつたものが、昭和十年に於ては八四五、九六三となつて居り、約〇・七倍の増加を示し、求職者數に就て見るに昭和六年に於ては四三七、七九七人であつたものが、昭和十年に於ては五三六、一五六人となつて居り、約〇・二倍の増加を示し、就職者數に就て見ると、昭和六年に於ては二〇三、三六七人であつたものが昭和十年に於ては二六六、六三六人となつて居り、約〇・三倍の増加を示して居る。

以上に依つて見るに求人數が最も増加率著しく、次いで就職者數、求職者數となつて現はれて居り、この五年間に於ける殺到率を見るに約九〇%から七〇%へと二〇%の低下を見せて居り、求人は求

勤勞が女子の健康上に及ぼす影響

寺澤 殿男

一 研究の対象及び方法

職業的の勤勞或は學校作業等に依る勤勞が健康に及ぼす所の影響は、種々なる方面から觀察せられなければならぬのではあるが、其一つの場合として私は體重の増減を基礎としてそれを觀察して見た事がある。本篇に於いて述べようとする所のもの、私が嘗つて或る方面の依頼を受けて女子従業者の作業能率及び衛生状態等を調査した際の一部の研究成績であつて既に報告書として其筋に提出したもの、一節を取り來つて、それを茲に再び考へ直して見ようとするのである。

此調査は右の次第で學校生徒に就いて爲されたものではないが、併し其従業者は多くは尋常小學校及び高等小學校を卒業して間もない人達であり、且つ其從事せる作業は學校作業と工場作業との略々中間にある性質のものであつて、筋肉を働かす事はさ迄でなく、主として感覺器官と大腦との機敏なる働きを要する性質のものであり、而して其の勤

勤勞が女子の健康上に及ぼす影響

戦前婦人労働論文資料集成

赤松良子・原田冴子 監修

西村小夜子・上田晴子・福沢恵子・望月雅和・石津澄子 編・解説

A 5判/上製函入クロス装 全8巻 揃定価135,000円(税別) ISBN4-87733-138-7(セット)

第1巻 一般

第2巻 労働条件、適性

第3巻 農業婦人、職業婦人

第4巻 労働状態、母性保護ほか

● 第1回配本全4巻 2002年7月刊

揃定価67,000円(税別)

ISBN4-87733-139-5

第5巻 労働の影響(1)

第6巻 労働の影響(2)

第7巻 労働の影響(3)

第8巻 労働の影響(4)

● 第2回配本全4巻 2002年11月刊

揃定価68,000円(税別)

ISBN4-87733-140-9

● クレス出版好評既刊書 ●

女性日本人

全12巻/別冊総目録、解題付 佐藤能丸監修

婦人総合雑誌として三宅花圃が主宰し、大正9年9月に創刊、大正12年9月の終刊まで全38冊が刊行された。婦人参政権・男女平等・生活改革・恋愛と貞操など多方面に目配りした重要な問題を取りあげている。また大正後期の文学状況を知るに不可欠な資料。

A 5判/総7,900頁/揃定価175,000円 ISBN4-906330-74-6,75-4

婦人と新社会

全7巻/別冊総目録、解題付 五味百合子監修

山田わか個人の個人評論雑誌として、わかを主筆に、夫嘉吉を編集発行人として大正8年4月創刊され、昭和8年7月第160号まで刊行されたものを復刻。婦人問題研究の宝庫であり、わかの婦人問題は「愛」とであるという主張が全号を通じて掲げられている。

B 6判/総5,100頁/揃定価本体90,000円 ISBN4-906330-76-2

岡崎文規著作選集 人口と家族

全6巻/清水浩昭監修・解説

大正末期から昭和40年代に至る長い期間、日本を代表する人口学者の一人であり、また人口行政の中心者であった岡崎文規の主要著書・論文のうち、「人口と家族」の視点から編集。結婚、離婚、出産、死亡全般、自殺、他殺など人口動態の幅広い資料。

A5判/総3,060頁/揃定価本体85,000円 ISBN4-87733-011-9

社会福祉統計年報

全3巻/厚生省大臣官房統計調査部編 上掛利博解説

厚生省報告例の抜本的改革によって1951年1月から各都道府県から提出されるようになった統計報告をまとめて(各巻の第2編)、それらに解説を付けて(同第1編)、昭和26年度より同34年度まで公刊されたもの。解説の最後には、英文概要も付けられている。

B5判/総2,800頁/揃定価本体90,000円 ISBN4-87733-059-3

文献選集 教育と保護の心理学

全四期48巻/別巻1 大泉溥監修・解説

心理学史の立場から近代日本の教育や社会的保護(福祉)にかかわる重要な諸労作を精選して編集。明治大正期(欧米心理学の受容と実践的模索)、昭和戦前戦中期(自立と試練)、戦後初期(反省と再出発)の三つの時期を代表する著作や論文、その他に専門雑誌・研究報告書を収録。

明治大正期全12巻 ISBN4-87733-020-8, 021-6

A 5判/総12,600頁/揃定価本体249,000円

昭和戦前戦中期全12巻 ISBN4-87733-022-4, 023-2

A 5判/総12,200頁/揃定価本体245,000円

専門雑誌・研究紀要全12巻 ISBN4-87733-052-6, 053-4

A 5判/総12,100頁/揃定価本体250,000円

昭和戦後初期全12巻 ISBN4-87733-072-0, 073-9

A 5判/総12,200頁/揃定価本体252,000円

家族研究論文資料集成

明治 大正 昭和前期篇全27巻別巻1 老川寛監修・解説

明治初期から昭和20年8月までの「家族」に関する論文資料を収録。

第1回配本全5巻 家族・家族制度論、家族・家族制度史

揃定価86,000円 ISBN4-87733-092-5

第2回配本全6巻 家族構造、大家族、戸籍・人口(統計)

揃定価116,000円 ISBN4-87733-093-3

第3回配本全5巻 家族の機能、家族の伝統と変化、農・山・漁

村家族、都市家族 揃定価113,000円 ISBN4-87733-094-1

第4回配本全6巻 婚姻 揃定価120,000円 ISBN4-87733-095-X

第5回配本全5巻 離婚、相続、隠居、分家、親子、親族・同族

・氏族、家族の問題 揃定価80,000円 ISBN4-87733-096-8

第6回配本 別巻 総目次、執筆者別索引、解説

本体5,000円 ISBN4-87733-097-6

A 5判/総24,500頁/揃定価本体520,000円



株式会社 クレス出版

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 ムロ一ナ日本橋

☎03(3808)1821 FAX03(3808)1822 http://www.kress-jp-com/